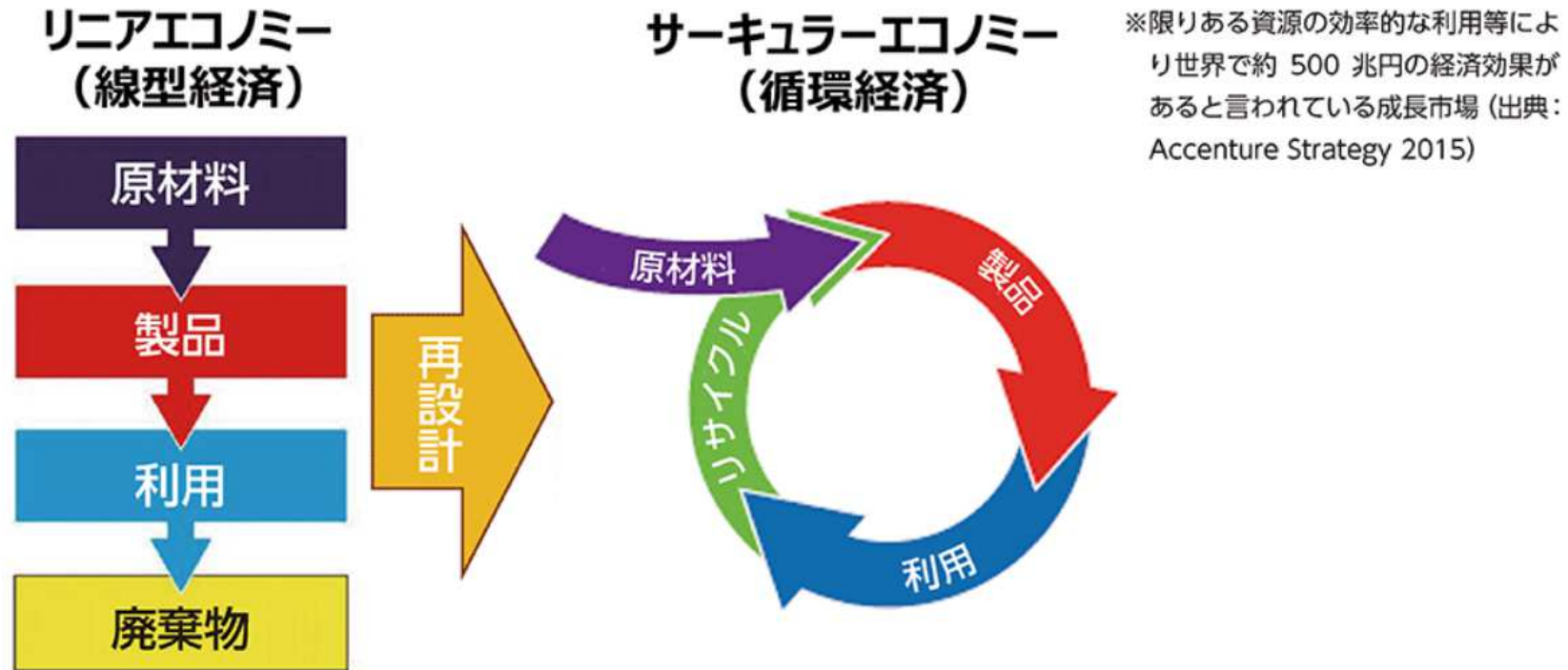


# 1 開催概要

日時	2022年11月22日（火） 14：00～15：45
場所	オンライン（Zoom）
テーマ	サーキュラーエコノミー（循環経済）
目的	1. サークュラーエコノミー（循環経済）について理解を深める 2. 各企業等のSDGsビジネス拡大に関するマッチング
内容	<p><b>第一部 テーマに沿った情報提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>「観光におけるサーキュラーエコノミーの実践」 （株式会社JTB）</li><li>「サーキュラーエコノミー実現に向けたビジネスへの挑戦」 （小田急電鉄株式会社）</li></ul> <p><b>第二部 パートナー企業同士のマッチング</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>各企業のSDGsの取組紹介</li><li>ブレイクアウトルームにて意見交換</li></ul>

## (参考) サーキュラーエコノミーとは (環境省ホームページより)



資料：オランダ「A Circular Economy in the Netherlands by 2050 -Government-wide Program for a Circular Economy」(2016) より環境省作成

循環経済（サーキュラーエコノミー）とは、従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すものです。ポストコロナ時代における新たな競争力の源泉となる可能性を秘めており、現に新たなビジネスモデルの台頭が国内外で進んでいます

## 2 当日の流れ

タイム スタンプ	時間(分)	内容	備考
第一部	テーマに沿った情報提供 35分		
14:00	5	開会・冒頭趣旨説明当	説明：県
14:05	10	観光におけるサーキュラーエコノミーの実践	登壇：株式会社JTB
14:15	15	サーキュラーエコノミー実現に向けたビジネスへの挑戦	登壇：小田急電鉄株式会社
14:30	5	県からのお知らせ、まとめ	
第二部	パートナー企業同士の意見交換 70分		
14:35	25	登壇希望企業の取組説明	1. 株式会社コル 2. 株式会社BPLab 3. 原貿易株式会社 4. NPO法人かながわ環境カウンセラー協議会
15:00	45	ブレイクアウトルーム	進行 県職員
15:45	—	時間になり次第各ルームごと閉会	

### 3 ブレイクアウトルーム登壇企業・団体一覧

	登壇者	登壇テーマ
1	株式会社コル	アップサイクルで食に関わる社会問題の解決を目指す 「UP FOOD PROJECT」
2	株式会社BPLab	繊維業界に向けたサーキュラーエコノミー
3	原貿易株式会社	誰でもできる脱炭素・SDGsの取り組み ～リユーストナーカートリッジの活用～
4	NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会	かながわ環境カウンセラー協議会(KECA)における SDGsの取り組みについて
5	小田急電鉄株式会社	サーキュラーエコノミー実現に向けたビジネスへの挑戦

# アップサイクルで食に関わる社会問題の解決を目指す「UP FOOD PROJECT」

(株)コル

## 取組概要

- 未利用/低利用素材（規格外の野菜・果物・魚や、殻・皮・芯・種・ヘタ・搾りかすなど未利用副産物）をアップサイクルすることでフードロスや廃棄物の削減を目指す共創活動です。

### 目標

### 課題

SDGsのゴール達成に向けてパートナーシップで解決したい課題を具体的に記載してください

- 規格外の野菜/果物/魚のフードロス削減
- プロテイン危機に向けた代替タンパク質生産
- 日本の食料自給率向上
- 海と食の問題解決（食害・磯焼け・養殖飼料）
- 食産業の温室効果ガス排出/水利用の削減

### マッチング希望先

SDGs達成に向けてどのような企業、団体、アカデミアとの連携を求めているのか（販路拡大は除く）

- アカデミア：未利用資源の発掘/機能性研究/加工の新技术研究開発（発酵・培養・保存技術など）
- 食品製造企業：副産物の提供 / 共同商品開発 / 加工委託（OEM・ODM）
- フードテック企業：商品開発・製造連携
- 流通企業：啓発イベントやワークショップ開催



## 今後の展開 マッチング後どのように取組を展開していく予定か（構想）

- 全国の未利用資源/加工技術・設備の情報を集約し、最適な循環が生まれるようにしていく
- サプライチェーン川下のパートナー増と消費者認知向上によって、食の問題の理解促進と応援消費の拡大を目指す

# 繊維業界に向けたサーキュラーエコノミー (株)BPLab

## 取組概要

- 繊維製品の循環プラットフォームの運営において様々な企業と連携ができる
- 繊維製品のサステナブルに向けてはサプライチェーンの可視化が重要になってきている。

### 目標

### 課題

SDGsのゴール達成に向けてパートナーシップで解決したい課題を具体的に記載してください

- 衣料の大量廃棄問題の解決に向けて、衣料の回収を取り組む企業を増やしていきたい。
- 繊維製品のサプライチェーンを可視化するサービスを提供していき企業のつくる責任をみえる化していきたい。

### マッチング希望先

SDGs達成に向けてどのような企業、団体、アカデミアとの連携を求めているのか（販路拡大は除く）

- 繊維に関わる企業
- スポーツチームとの連携
- 大学などのSDGS関連サークル



## 今後の展開 マッチング後どのように取組を展開していく予定か（構想）

- スポーツチームとその応援者を通して地域に根ざした衣料循環を行う。
- 大学などの教育団体を通して衣料のサーキュラーエコノミーの可能性を広げる。

# 誰でもできる脱炭素・SDGsの取り組み ～リユーストナーカートリッジの活用～

## 原貿易株式会社

### 取組概要

- 脱炭素・SDGs達成に役立つリユーストナーカートリッジをはじめ、「印刷」に関わるソリューションを提供しています。CO2排出量削減や廃棄物の再資源化につながるリユーストナーカートリッジを使用した「誰でもできる」脱炭素・SDGs活動を推進。サーキュラーエコノミーに貢献できる事業を展開しています。他にもSDGsに役立つ製品を取り扱っています。

#### 目標

#### 課題

SDGsのゴール達成に向けてパートナーシップで解決したい課題を具体的に記載してください

- リユーストナーカートリッジの普及を通じて、あらゆる主体に脱炭素・SDGs達成の重要性の啓発を図るため、活動の幅を広げる機会や連携先を探したい。



#### マッチング希望先

SDGs達成に向けてどのような企業、団体、アカデミアとの連携を求めているのか（販路拡大は除く）

- 脱炭素やSDGsの取組に興味がある方
- 脱炭素やSDGsに取り組みようとしており、まずは身近なことやできることから行動してみたい方
- プリンターを業務などで使用しており、リユーストナーカートリッジに興味のある方

### 今後の展開 マッチング後どのように取組を展開していく予定か（構想）

- マッチング先と協力し、脱炭素・SDGsに貢献できる活動をさらに進めていきたい。
- マッチング先の脱炭素・SDGs活動の一助となれるような取組を行っていきたい。

# かながわ環境カウンセラー協議会(KECA)におけるSDGsの取組みについて

## NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会

### 取組概要

- 「市民活動」「事業者活動」等において、県・自治体・事業者等と環境を基軸としたSDGs活動を展開した(1998年～)
- SDGsパートナーシップ推進のため、**中小事業者の為の「SDGsセミナー」**を開催し、かながわのSDGsの仲間を増やしたい

#### 目標

#### 課題

SDGsのゴール達成に向けてパートナーシップで解決したい課題を具体的に記載してください

- これからSDGsに取り組みたいと考えている、**中小事業者と一緒に、ゴールに向かって伴走しながら活動を図りたいが、その中小事業者がなかなか見つからない。**
- 経営資源は厳しいがSDGsを志向する中小事業者との連携の為の情報やノウハウが不足している。**



#### マッチング希望先

SDGs達成に向けてどのような企業、団体、アカデミアとの連携を求めているのか（販路拡大は除く）

- 経営資源は厳しいがSDGs活動に着手したい、**熱意ある中小事業者を紹介して頂ける方**
- 地域・職域で、上記の様な**中小事業者の相談相手の紹介に悩んでいる、事業者・自治体・団体の方**
- SDGs活動を推進しているが、**環境問題の専門家集団を探している、事業者・団体・NPOの方**

### 今後の展開 マッチング後どのように取組を展開していく予定か（構想）

- 熱意を持ってSDGs活動を開始したい中小事業者に対し、**走りながら一緒に活動を支援する取組み**を進めていきたい。
- SDGs活動を支援する、**様々な分野のNPO法人・団体・自治体との連携の取組み**を推進したい。